

## 15の講義内容 漫画・アニメにみることばの言語表現

## 漫画における言語表現

漫画を読むとき、必ずその登場する人物の表現することばがその描かれた人物画像と対応されていることに気づかされよう。異国人の場合はそのことば表現にある種の特異言葉が用いられているからだ。また、日本人でも大人と子ども、そして老人ではやはり言い方が違うことに気づく。令嬢の登場する漫画も令嬢なる特徴あることば表現が用いられている。これと同じように、漫画のなかに登場する博士なる科学者のことば表現にも他と一線を引いた特徴あることば用いられている。この特徴或ことば群を大阪大学大学院教授金水敏さんは、『[ヴァーチャル日本語 役割語の謎](#)』（岩波書店・二〇〇三年刊）のなかで「[役割語](#)」として統轄し、これを解析されている。すなわち、博士は、「博士語」を用いて喋り、お嬢様である令嬢は「令嬢語」を用いて周囲の人の会話とは異なる言い回しで喋るからだ。そして、異邦人には、日本国の人が用いないような言い回しをさせているのが特徴なのである。

## 漫画素材からみた作品

## (1) 「博士」編

空想科学研究所「瀬戸龍哉・山本敦司」編『漫画博士読本』（宝島社、一九九九年刊）には、一六

八人の博士が収録されている。主要掲載の人物は、

- ・ お茶の水博士（『鉄腕アトム』）「わしも…じゃと？」
- ・ 天馬博士（『鉄腕アトム』）老人らしくない博士は「博士語」を使わない
- ・ 練馬大学を卒業後、馬力に馬力をかけ、うまく高田馬場にある科学省任官試験に、ダーク・ホースとしてパスした。[海馬の研究では博士の右に出る駒はない。](#)「[脳生理学者](#)」
- ・ 猿田博士（『火の鳥』・未来編）
- ・ 谷博士（『8マン』）
- ・ 敷島博士（鉄人28号）
- ・ 兜十蔵博士・兜剣造博士（『マジンガーZ』、『グレート・マジンガー』）
- ・ 則巻博士（『Dr. スランプ』）

「八〇年代に入ってすぐ登場したアラレちゃんは、ロボットの歴史に新たな歴史を刻んだのである。悪と闘うロボットではなく、生活の退屈さと闘うロボット。こんなロボット、誰が想像したであろうか」

・ 岸和田博士（『岸和田博士の科学的愛情』）「私は…じゃ」表現の八人である。

(2) 「令嬢」編 お嬢様ことば「〜て（よ）」「…動詞+わ」「…名詞+・だ・です+わ」「…動詞（+ます）+・の」の語形を多用する。

① 山本鈴美香著『エースをねらえ！』（『週刊マーガレット』一九七三〜一九八〇年）の「お蝶夫人」「お蝶夫人」…本名、竜崎麗香。蝶の舞いにも似た華麗なプレイから（お蝶夫人）と呼ばれる。

生徒会副会長。高校卒業後も、主人公ひろみに、惜しみなく手をさしのべ、世界

へと送り出そうとしている。チャームポイントは縦ロール。父親は、日本庭球協会の理事。(由来は小説『マダム・バタフライ(蝶々夫人)』(ジョンルーサーロング)、それからプッチーニのオペラ歟)



(参考) 『お蝶夫人珠玉の名セリフ集』

○ 「勝とうとすることなどなくてよ。あなたのプレイをすればよろしいのよ。「この一球」常にそれだけでよろしいのよ。」

○ 「…コーチにおことわりしてらっしゃい。そのほうがあなたのおためよ」

○ 「お受けなさい！」

○ (笑う時) 「ホホホホ…」



② 一条ゆかり著 『有閑倶楽部』



○ 「ですわよね シンデレラも白雪姫も1回しか王子と会っていないし お互いの人となりもわからないのに危険ですわよ」 「一番大切な信頼関係をまず築いてからでないと同じ失敗を繰り返しますわよ可憐」(野梨子の会話)

③ 鈴木由美子著 『新・白鳥麗子でございます!』

④ 川原泉著 『笑う大天使 (ミカエル)』 映画化

超お嬢様女学園聖ミカエル学園を舞台に、誘拐事件に巻き込まれた庶

民派三人娘の活躍を描く学 園コメディー。

⑤ 池田理代子著 『ベルサイユのばら』



(3) 「異邦人」編

中国人「…たあるよ。…あるね。…するよろしい。」 (アルヨことば)

黒人

西洋人 (白人)

森銚三著 『明治東京逸聞史』(東洋文庫上巻、平凡社刊)に、一八八一年の「外国人の日本語」の記事を紹介していて、

『新橋藝奴評判記』には、「外国人」も仲間入りして、「この見たいさん別嬪あります。踊、三味線、皆々よろしい。わたし、いつでも弗進上あります」などと片言の日本語をしゃべっている」とあるようだ。

①鳥山明著『Dr.スランプ』の摘さん一家は、中国の奥地から、宇宙船で飛び立ち、アラレちゃんに撃ち落されてしまったわけだが、父親の鶴天は「こ／＼こんちわ／＼わたちたち／＼こんどひっこちてきた摘一家ある／＼よろちくね」と挨拶し、娘の鶴燐が支那ソバのどんぶりを指しながら、「ひっこしソバあるね」と言う。

#### (4) 各職業編

「プロレスのキングダングでごんす」

「わしは音楽家のヘントーセンだ」「手塚治虫」／「こう見えても山内剛蔵バイオリンづくりにかけては外国に知られた男じや 一つ一つにワシのタマシイをこめるんじや 安っぽい市販品とはわけがちがう!」 「手塚治虫」 「ミッドナイト4月1日」より」

「わがはいは日本の代議士」

#### 漫画からアニメに

多くの漫画は、やがて動く動画というアニメーション化して、テレビ画像に登場したり、劇場版となって映画化されていく。ここで登場人物が語りかけていることば表現はどのような変化をしている

かを考えてみよう。↓ <http://jp.youtube.com/watch?v=lpGzQb8qImw>

<http://www.weshow.com/jp/p/35488/>

[http://www.weshow.com/jp/p/35442/bbc\\_sport](http://www.weshow.com/jp/p/35442/bbc_sport)

#### 海外での漫画とアニメ

日本の漫画は、今では世界に発信され、多くの読者を持つようになった。ヨーロッパで公開された「MANGA」について最後に触れておく。ここでは、日本語から各国の言語にセリフ部分が入れ替わっている。その入れ替わりの言語表現は、果たしてどのような翻訳語となって表出しているのだろうか。

〈参考HP〉

[京都国際マンガミュージアム](http://www.kyoto-international-manga-musician.com)